

【尼崎市】

1 人 1 台端末の利活用に係る計画

1 1 人 1 台端末をはじめとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

小・中学校等に、おける ICT 環境の整備による、汎用的なソフトウェアやクラウドを活用した授業、学習者用デジタル教科書利用の促進やデジタル教科書以外のデジタル教材・学習支援ソフトウェアの導入による、「子供が主語になる授業」、「授業内容がよくわかる」小・中学校等の児童・生徒の増加及び、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実による「主体的・対話的で深い学び」の実現に努めていきます。

2 GIGA 第 1 期の総括

令和 2 年度のコロナ禍における GIGA スクール構想に沿って、小・中学校等の児童・生徒に 1 人 1 台端末の整備を完了し、あわせてその周辺機器及び、市内小・中学校等における高速大容量のネットワーク整備を行いました。また、学校デジタル化の実現に向けた、各種・多様な学習系システム導入の検討・整備に努めました。

令和 5 年度の端末の利活用調査では、週に半分以上使用したと回答した学校は、小・特別支援学校で 97.6%、中学校で 76.5%であった。「週に半分くらい使用している」と回答した割合が多いものの、徐々に「ほぼ毎日使用している」割合が増えてきており、端末を活用した授業形態が定着しつつあると認識している。

視覚的効果を用いて「授業内容がよくわかる」ICT 活用が行われている一方で、教師の指示で端末を使用する等「子供が主語になる授業」の実現には、課題を残しているため、教師自身の学びの転換を促すために、端末やクラウドを活用した研修を行っていくよう努めていきます。

3 1 人 1 台端末をはじめとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿・GIGA 第 1 期の総括、これらを踏まえた 1 人 1 台端末の利活用方策

令和 2 年度のコロナ禍における GIGA スクール構想に沿って、一定のネットワーク構築を行ったもののネットワーク整備計画2(3)のとおり、各小・中学校における授業時の各教室内での通信速度の帯域確保に課題を残していることから、今後は学校における最適なデジタル化や学びの保証を実現できるよう、十分なネットワーク環境の整備に努めていきます。

また、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実による「主体的・対話的で深い学び」の実現のために、上記に記載した研修の在り方を実現、文部科学省リーディング DX スクールによる先進的取組を参考にし、本市、研究事業でモデル校・指定校の取組を全体に広め、1人1台端末の効果的な活用に引き続き努めていきます。